

2025年7月1日、

当社は、このたび企業のパーパスとして、「人を想う技術で、ともに、明日をつくり続ける。」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

■パーパス

人を想う技術で、ともに、明日をつくり続ける。

地中の配管、ビルの設備設計、夜明け前の復旧作業。

暮らしやビジネスを支える IT システムや、再生可能エネルギーの推進。

そこに暮らす人の生活に、配慮した段取り。

この仕事の先にいる、一人ひとりの姿を想像し

見えないところまで、つくる。

地球環境が変化しても、時代が求めるものが変わっても

人々が笑顔で暮らせる日常を支え続ける。

人を想う技術で、持続可能な社会のために、

地域とともに、仲間とともに、明日をつくっていく。

それが、私たち SYSKEN の仕事です。

■策定の背景と目的

当社は、1954年の創業以来、総合エンジニアリング企業として、熊本を拠点とし、

約70年もの間、通信、そして社会を支えるための技術を磨き、地域を支え続けてきました。

社会の変化が加速する中、社員一人ひとりが誇りを持って働き、関わるすべての人々と

未来に向かって進んでいくために、私たちの「存在意義」を言語化する必要性を感じ、

パーパスの策定に取り組みました。

■パーパスに込めた思い

パーパスには、当社が大切にしてきた「誠実な技術力」と「人への思いやり」、そして、

地域の人々や顧客企業、パートナー企業と“ともに”未来を築いていくという姿勢を

込めています。

私たちが提供するのには、設備や構造物だけではありません。

地域社会を支え、目に見えない安心や快適さをかたちにする“技術と思いやり”です。

このパーパスは、その SYSKEN らしさを、社員の言葉で、等身大に表したものです。

人々の声に寄り添い、これからも技術を磨き続け、地域社会の明日を創り続けるという

SYSKEN の使命感を込めました。